

平成30年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	オムニポテントファイバレーザをコアとするデジタルフロンティア光計測の研究
研究代表者	山下 真司 (東京大学・先端科学技術研究センター・教授) ※平成30年7月末現在
研究期間	平成30年度～平成34年度
コメント	<p>本研究は、応募者らが開発してきた、世界をリードし独創性を有するオムニポテントファイバレーザ(万能ファイバレーザ)と、光通信分野で実用化されている汎用性の高いデジタルコヒーレント受信技術とを組み合わせ、新たな計測原理を確立しようとするものである。従来の計測を含む、様々な計測用途に適用できる高感度・高分解能な光計測技術を開拓しようとする点において、学術的な高い独自性が認められる。</p> <p>応募者らによる研究体制や研究遂行のための準備も整っていることから成果が期待でき、得られる成果の応用範囲も広く、波及成果も期待できる。</p>